



ダライラマ14世と著者

「保育」の原点

27

『ダライラマ14世の若さの秘密』

文 葛西得男

Text by Tokuo Kasai

ダライラマ14世、去年も11月に来日されました。現在81歳。ノーベル平和賞を受賞されたのが1989年、54歳の事です。

ダライラマ14世は、アメリカ大統領やイギリスのチャールズ皇太子、ローマ教皇など世界中の重要人物との親交があり、国連主催の世界人権会議で演説を行ったり、まさに国際社会から偉人と呼ばれる人物です。

彼の後援者は全世界にたくさん居ると思いますが、ニューヨークでの後援者が一番多いのではないだろうか？と思います。本当にアメリカ人はダライラマ14世が好きなのです。

約20年前にニューヨークで初めて目に掛かった時の事を思い出します。

ダライラマ14世は当時マディソンAve(アベニュー)アップタウンの高級コンドミニウムに滞在しておられました。お付きの方が我々を案内し、中へ通してくれました。お付きの方の言えない漢方薬の匂いがしており、ニューヨークのど真ん中に居るのを忘れ東洋を感じてしまいた事を感じています。

第一印象は気さくなオヤジさんといった感じなのですが、笑うと非常にチャーミングで、人懐っこい眼差しが相手の心を和ませそして惹きつける、というオーラが感じられました。

色々なお話をさせて頂いた中で一番印象に残ったのが彼の健康法でした。それは以前から私が彼に一番聞きたくあった事でした。まさにそのチャンス到来だと思いました。あのご年齢で、何故あれ程活動的にエネルギーに、年齢を感じさせずに精神的に世界中を飛び回る事が出来るのだろうか？あの若々しさ、あの肉体を維持する健康法の秘密があるに違いない、何かその健康法に鍵があるに違いない、とそう思いました。ご本人に直接にお聞きできる絶好のチャンスだったので。

「食べ物なのか？空気なのか？それとも漢方薬なのか？ストレスフリーなのだろうか？使命感なのか？人並み外れた集中力なのだろうか？」

私はこれまで、自分の考えていた事をすべて彼に質問してみたのです。彼は少し間を置き、穏やかですが、真剣な目になって私にこう言いました。

「葛西くん、君の言った事はすべて当たっています。どれも、すべて大切な

要素です。しかし、一番重要な事。それは『足腰』です。人間の年齢は歳で決まるものではありません。80歳の人間でも足腰が40歳であれば、その人の年齢は40歳なのです。長生きし、いつまでも若く活動したいのなら『足腰』を鍛えなさい」

彼にそう言われた事が心に残っていました。

そして、去年ダライラマ14世のご尊顔を拝見した時にまたその言葉を思い出しました。

何と彼は20年前と全く変わっていないかったのです。

Profile

1950年12月8日大阪に生まれる。1972年、追手門学院大学卒業後、米国ボストンカレッジに留学。1975年に帰国後、アップリカ葛西に入社。営業部、副社長、社長を経て、1996年に社会福祉法人松福会 理事長に就任。松福会は社会福祉法人として高齢者介護施設「アップリケア」と認可保育園マザーシップ保育園を運営している。アップリカ葛西 副社長時代に国連UNEP環境計画のスペシャルアドバイザーとして子供たちのために地球環境問題を考えるプロジェクトに参画し、世界の賛同者と世界会議、イベント普及活動などを行いながらその人脈などを広げ現在に至る。

